ユネスコスクールについて

岩松北小学校は、ユネスコスクールです。これからユネスコスクールについての自慢話をします。

今、みんな、外で楽しく遊んだり、運動したりできる。

季節ごとにきれいな花が咲くこと。

きれいな水を飲むことができる。

寒いときはストーブで身体を温めることができる。

学校があって勉強ができる。

世界の自然の中には、象やキリンやパンダ、ライオンなどいろいろな動物がいる。

今は、ふつうに当たり前のことですね。

いつまで、そうしたことが続くのでしょうか？

空から身体に悪い毒が降ってくるようだったら外では遊べません。

水が放射能で汚れていたら水は飲めません。

世界中の石油を全部使ってしまったらストーブに燃料を入れられません。

戦争で爆弾が落ちてくるようなところでは学校に行くことさえできません。学校の建物も壊されるかも知れません。

森の木を切りや草原を畑にしてしまったら動物たちは絶滅していなくなります。

そんなひどい地球にならないように、今の私たちはどうしたらいいのか。

資源をやたら使わないように、リサイクルのために缶やペットボトル、古紙を集めること

友達と仲良くしたり人のために助け合ったりすること

水を無駄に流さないこと

使っていない教室の電気を消すこと

思いやりの心で人に優しくすること

そうした、小さな事をみんながやっていくことが大事だよって勉強している学校

人と助け合うことが大事だよってわかって、がんばっている学校

そういう学校が、ユネスコスクールなんです。

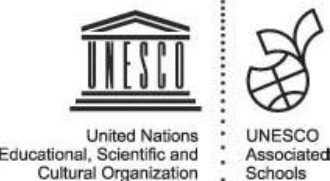
では、ユネスコスクールはどれだけあるのでしょうか？

富士市には27校の小学校があります。その中で、岩松北小学校だけです。

では、静岡県ではどうでしょう。静岡県には、公立小学校５１０校ありますが、その中で岩松北小学校だけです。

それを、世界のユネスコが認めてくれているのです。

一人ぼっちかというと、そうではありません。日本では幼稚園、小学校・中学校・高等学校及び教員養成系大学９１３校、世界181か国で約10,000 校がASPnetに加盟して活動しています。



みなさんは、このマークを見たことがありますか？

これならわかるかな？

これは、岩松北小学校がユネスコスクールとして認められた証拠の看板です。

2013年４月23日に認められましたから、丸2年たったところです。

ユネスコは、この地球に住む人みんなが、学校に行けて、戦争や争いごとの苦しみがなく、文化的な豊かな生活ができるようにしようとする組織です。

そのユネスコに認められているのだから、

ユネスコスクールとしての勉強、つまり平和な世界がずっと続くための勉強をＥＳＤと言います。

この曲を聴いたことありますね。

これは、ＥＳＤのテーマ曲です。

僕らは世界の一粒の命

富士山、雲の上、雪景色と山々、こんな世界がいい

同じ空の下で争うのは止めよう

大自然にありがとうと言える未来をつくろう

世界に認められているのですから、それを守っていきたいと思います。これは、岩松北小学校の自慢ですから。ちゃんとできていないと、ユネスコスクールではなくなってしまうのです。

自然を大事にし、人と助け合い、平和な社会をつくる、そういう自慢を大事にしましょう。私たちは、ユネスコスクールの一人一人です。